

授業改善書

科目名	英語 I (人間文化学科)
担当者	米村 泰明

授業の概要

人間文化学科に学生に必要と思われる、いわゆるリベラルアーツの分野で用いる語彙と表現の習得を中心に授業を行っている。テキストから必修語彙、表現を抽出したプリントを配布して、それを完成させる作業を行っている。発音させ、筆記させることで修得させるようにしている。並行して、それぞれの単元で扱う分野で知的生活の中で関わりのある事柄についても紹介している。たとえばPoetryの単元では、短い英詩や英語の俳句を鑑賞した。

授業の問題点

学生の問題点。学習意欲のある学生とない学生の差が大きい。質問や発言をする少数の学生がいる一方で、ただ座っているだけのものもいる。授業内容、あるいはテキストから離れた一般教養的な事柄を話題にしても、シャッターを閉ざしたようにまったく反応がないものがある。

また、板書がすべてと考えている学生がいることも問題である。キーワードを書いてそこから学習内容を導き出させようとする板書や、答えの導きだし方を板書するようにしているが、これを機械的に書き写しても、後で何の役にも立たないだろう。授業中に板書以外のメモをとる技術がないのがこのようなことにつながっていると思う。

授業改善の課題・方策

学生たちに、自分の身近な生活圏にある英語を紹介することで、英語と自分のつながりを感じさせる機会を作っていく。これは従来から行っていることであるが、ここで再確認しておく。

また、板書についても、ただ書き写すだけでなく、後から読んで思い出せるようにするように指導する。

その他

授業改善書

科目名	英語 I (子ども発達学科)
担当者	米村 泰明

授業の概要

小学校で英語教育が行われるようになり、保育園や幼稚園でも英語教育が取り入れられつつある時代の趨勢を鑑みて、実際に現場で使える英語を教授している。必修語彙や表現を発音させ、かつプリントに記入させて覚えさせるようにしている。
また、英語の歌を歌ったり、それに合わせた手遊びなどを行う機会も設けている。

授業の問題点

最大の問題点は、学生たちのほとんどが自分には英語は必要ないと思いこんでいることである。「授業内容への興味・関心」の低さはそれを反映している。満足度も必然的に低くなる。
記述欄にあった、「英語の訳を書いてほしい」という希望は、まさに「答えだけ教えてくれればいい」ということだろうと考えている。
進度がシラバスの記載よりも遅れたのは、理解を確認するために時間をかけたからである。

授業改善の課題・方策

幼児教育における英語の重要性はこれからさらに増大する。しかしそれを理解させるのは、英語担当の教員だけでは不可能である。学科での取り組みが必要になると確信している。
当面はこれまで通りの授業を続ける。「板書が読みにくい」という指摘については、学生に理解を確認しながら改善していく。秋期も理解度を上げるためにシラバスから遅れることとなる。来期はシラバスの作成にも検討が必要となるだろう。

その他

授業改善書

科目名	英語 I (経済経営学科)
担当者	米村 泰明

授業の概要

大学生が貿易商社に履歴書を送り、面接を受け、採用され、電話での応対、アメリカからの来客を迎えるという体験を教材とした。シチュエーション・ダイアログから受講生に役に立つ表現と基本的語彙を抽出して、発音、筆記を繰り返すことによって記憶させ、さらには応用ができるようにした。各ユニットの開始前に必修語彙・表現の一覧を配布し、終了時にそれらを確認するためのレビューを行った。

授業の問題点

授業アンケートの結果から判断すると、授業方法に特筆すべき問題はないようであるが授業内容への評価が低かった。英語そのものへの関心の低さ(その中には、もう英語はやりたくないという意識もある)、自分の人生に英語は必要ないという意識の表れだろう。「質問・発言をしたか」に対する回答がきわめて低調であった。「教室にいること」「板書を書き写すこと」だけで義務を果たしたように思っている学生がいることが問題である。1年生の科目ではあるが、将来の就職活動、さらには就職してからのことを意識させる授業を行ったつもりであるが、「自分には英語は関係ない」という態度の学生が見られることは懸念材料である。これは他の2学科も同様である。

授業改善の課題・方策

学生が必ず使うことになるビジネスでの基本的な語彙と表現に絞った授業をしているが、英語アレルギー(勉強アレルギーとも言える)の払拭にまでは至っていないようである。一般常識に当たるカタカナ語で日常生活に入り込んでいる表現すら知らない学生が多いことも問題である。語彙・表現は発音させるようにしているが、実際に声を出すのは数名しかいない。根気よく丁寧に、各単元で必要なことだけを重点的に扱うようにしていく。

その他